

傾聴ボランティア 13年

笑顔の加藤彌生さん
(6期生3G)

このボランティア
が一番自分に
あっていると思い
ました！



(社)港区社会福祉協議会第2回表彰式において、地域福祉功劳賞を受賞されました。

いつも訪れる施設で聞き役の私に「待っていたんだよ！」と声をかけられたときは嬉しかったですね！



加藤さんのお話(インタビュー)

平成17年(2005)に認知症(当時は痴呆症)の方をケアする傾聴講座(有料50時間)を受ける機会があり“ああ、これは私にあっているな”と感じ興味を持って受講しました。特養ホームやデイケアでの活動に私を楽しみに待っている人がいることを知り、「私も必要とされているんだ」と実感するとともにやりがいを噛みしめることができました。あるとき、車イスで目の不自由な方から“日本橋高島屋に食事に行きませんか”と誘われたのはとても印象的で感激する場面でした。

応援

とても80歳を超えたとは思えないほど肌もツヤツヤで、また穏やかながらもイキイキと笑顔でお話いただきました。一口に13年と言ってしまうがちですが、ず～と続けてこられたのは「私はこれが好き」との力強い想いが込められていると感じました。これからも頑張ってくださいね！